

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	演劇祭の開催					所管	文化産業観光部 文化振興課	
	行政計画	事業NO.	39	計画事業名	演劇祭の開催	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 平成22年度	
		[小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ③観光資源の活用と拡充						
根拠法令等	要綱	[法令等名]	「したまち演劇祭」事業費助成金交付要綱					
事業対象	一般区民及び来街者、演劇関連団体							
事業目的	下町らしい特色ある会場での公演や、参加して楽しめる体験ワークショップ、地元中高生によるステージなど、区民が身近に演劇に触れ合える機会を提供することで、地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図る。また、大衆芸能発祥の地である台東区の特徴を活かした企画を一層充実させ、さらなる本区の魅力の発信を図る。							
事業内容	区民参加型のオープニングイベントを皮切りに、約1か月間にわたり地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図る演劇祭を開催する。普段は演劇に使われない歴史と特色ある会場において、公募による劇団の公演や、演劇や舞台芸術を実際に参加して楽しめる体験ワークショップ、地元中学校・高校演劇部の生徒によるステージなど区民が身近に演劇に触れ合える機会を提供する。							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	プログラム数	(本)	-	21	20	24	
		会場数	(会場)	-	23	21	21	
	成果指標	来場者満足度	(%)	-	97.0	97.0	94.0	
		来場者数	(人)	-	117,654	132,029	131,611	
	決算額 (単位：千円)					17,917	17,378	17,853
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)				10,202	9,624	11,146
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				17,918	17,379	17,853
		総経費				28,120	27,003	28,999
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
	一般財源(区負担額)				28,120	27,003	28,999	
前回評価から改善した事項	昨年度まで夏から秋にかけて開催していた演劇祭を冬に時期を移行することで、劇団の準備期間を確保した。またその間に事前PRイベントの実施回数を増やしたこと、六区ブロードウェイにあるチケットブースでの公演チケット販売や、デジタルサイネージにおける告知など、周知強化に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	演劇団体や劇場の支援、舞台芸術文化のさらなる振興を図るため、行政が継続的に事業を実施する必要がある。					
	効率性	3	演劇祭の事業趣旨に賛同した団体から提携公演としての参加を多く得られ、経費削減に努めながらプログラムの充実を図ることができた。					
	手段の適切性	2	演劇上演のみならず、実演芸能を幅広く捉え、本区の芸能や伝統文化を総合的に支援し、発信するよう見直しを図る必要がある。					
	目的達成度	3	アンケート調査から、来場者数の多数が演劇祭について高く評価をしている。本区の舞台芸術文化をさらに発信していく必要があるが、プログラム内容は区民参加を募るなど回を重ねるごとに充実しており、地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図っている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
プログラム内容は回を重ねるごとに充実しており、劇団や劇場の区内進出、稽古場として整備した「たなか舞台芸術スタジオ」の開設など、舞台芸術活動を支援・育成する環境は整ってきている。一方で、本事業への区民来場者の割合は低く、地域への浸透が不十分であり、区民の支持を得られる企画内容に改善を図る必要がある。								